

◆屋外での内容



蒲田少年消防団の協力による消防服を着ての消火器体験は、楽しみながら体験ができたようです。



大森山谷自治会と大森町自治会の協力で、バケツリレーとアメタンカーによる放水体験が行われました。



昨年引き続き行った「投てき水バクによる消火体験」。うまく当たらずになかなか消えない子もいました。

我が家でできる防災対策 (その④)

◆備蓄食品の賞味期限を確認してますか◆

大きな災害が起こった時、救援物資が届くまでには3日ほどかかると言われています。そのため、家庭でも備蓄食品を蓄えておく必要があります。その備蓄食品にも賞味期限があり、定期的に食して、入替える必要があります。

昨年11月に行った「第3回防災まちづくりフェア」では、乾パン、乾燥もち、アルファ化米の備蓄食品の変わった食べ方を紹介し、大変好評でした。ここで、そのうち乾パン料理のレシピを紹介します。みなさんもご家庭で試してみたいはいかがですか？



フライパンひとつで手軽につくれます

フレンチ乾パン (乾パンのフレンチトースト風)

材 料：大田区乾パン1パック、牛乳1/2カップ、たまご1個、砂糖大さじ1、バター適量

つくりかた：

1. ボールに牛乳、溶き卵、砂糖を混ぜて乾パンを15分以上浸します。(乾パンは水分を吸いにくいので、30分くらい浸したほうが良いです)
2. フライパンを熱し、バターを溶かしてボールから取り出した乾パンを弱火で両面に焦げ目が付くまで焼きます。
3. 皿に盛りつけ、お好みでシロップをかけてできあがり。

志茂地区に行ってきました



自治会館をお借りして、「ほうけん会」との懇談を行いました。

「岩淵かっぱ広場」などを案内いただきました。

お話のなか、「児童館と一緒にウォークラリーを行ったことで、子どもに防災まちづくりの関心を持ってもらえた」、「駅にまちづくりニュースを置かせてもらっている」など実際に活動されたことを紹介していただき、今後、大森中・蒲田・糞谷地区での活動を考える参考になりました。

2月1日(土)の午後、北区志茂地区(営団地下鉄南北線志茂駅周辺)へ防災先進地視察会に出かけました。当日は、晴天のもと寒い一日でしたが、当会員12名のかたが参加しました。

今回は電車での移動であったため、交通渋滞に巻き込まれることもなく、時間をかけた視察会となりました。

現地では、自治会館で、まず防災まちづくり活動をされている「ほうけん会」会員の住民の皆さん、北区の職員、からお話を聞きました。その後、道路が拡幅された場所、電柱が撤去・移設された場所、住民の話し合いによって計画された



川の上にそのままフタをした形で道路となり、歩きにくかった部分が改善されたところを見学しました。



岩淵かっぱ広場には非常時にトイレとして利用できる物置がありました。

視察に対する本会員の主な感想

- ・ほうけん会または区の人が、視察に対して熱心に対応していただけて良かった。やはり他地区の視察は勉強になり良かった。
- ・初めての視察会だったので、全てが勉強になり良かったです。悩みは同じであったり、地域性というものもとても反映されるのだとわかりました。
- ・ガードパイプ、児童館、地下鉄の駅への取り組み姿勢、参考になりました。
- ・わがまちでできることをじっくり検討していくことが大事だと感じました。
- ・この会に入らなければ、わからないことが沢山あり、それをまわりの知らない方々に広く示す努力が永遠のテーマのように思われます。



岩淵かっぱ広場で記念撮影

志茂地区はこんなところですよ!

今回視察した志茂地区は、大森中・蒲田・糞谷地区と同じ、都の防災生活圏促進事業により「逃げないですむまちづくり」活動が進められている地区です。

水路敷を利用して整備された入り組んだ道路が多く、広場が少ないことなどが課題となっています。

町会役員、公募住民などで構成される「ほうけん会」では、役員会と3つの部会(道路部会、ひろば部会、広報部会)を設けて、活動を行っています。